

『羽裏:近代日本の雄弁なメディア』展 関連プログラム『日本文化入門ワークショップ』 展覧会レセプション

1. 趣旨及び概要:

展覧会『羽裏:近代日本の雄弁なメディア』 展 (無料)

明治以降の日本において、羽織の裏(羽裏)の意匠は、新時代への人々の好奇心と夢を映す重要なメディアでした。『羽裏:近代日本の雄弁なメディア』展は、明治から昭和初期に友禅染の老舗、(株)岡重(京都市)によって作られた羽裏のコレクションを、貴重な歴史資料として紹介し、近代日本人の美意識と世相を振り返ります。



羽織朱鯛

キュレーター: 大高 幸 (おおかみゆき: 教育学博士、コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ非常勤助教授)

* 大高氏は、羽裏の研究を InSEA においても発表します。

主催者: (株)岡重、コロンビア大学ティーチャーズカレッジ

関連ワークショップ『日本文化入門ワークショップ』

InSEA 学会参加者のために、90 分の『日本文化入門ワークショップ』(英語・日本語)を8月9日(土)、京都市の展覧会場にて、開催します。キュレーター大高幸氏と岡重社長岡島重雄氏による、対話型ギャラリートーク及び初心者向け茶の湯入門の体験型のプログラムです。このワークショップでは、羽裏、茶の湯に通じる日本文化の特徴に加え、日本文化理解に欠かせない、京都必見の名所もご紹介します。(参加料: 3,000 円: 要予約)

レセプション——鴨川べりの川床で夕涼み (無料)

InSEA 学会参加者は、展覧会場に付設された鴨川べりの川床で催される8月9日(土)のレセプションにもご招待します。川床で夕涼みをしながら、InSEA 会員の交流の場になれ幸いです。

この展覧会と関連イベントの詳細は、www.okaju.com まで。

ワークショップの申込みは、コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ東京校まで、イーメール (office@tc-japan.edu) または電話 (03-3221-9771) にて。

2. 開催期間:

『羽裏：近代日本の雄弁なメディア』展：8月2日（土）～10日（日）

（11:00 am—7:00 pm）

『日本文化入門ワークショップ（要予約）』（英語・日本語）：8月9日（土）

ワークショップ1：10:30 am—12:00 pm

ワークショップ2：1:30 pm—3:00 pm

展覧会レセプション：8月9日（土）5:30 pm—7:30 pm

3. 会場・アクセス：

遊空間 Roji（地図参照）

〒604-0923 京都市中京区木屋町通御

池上ガル東側

Tel: 075-221-3501

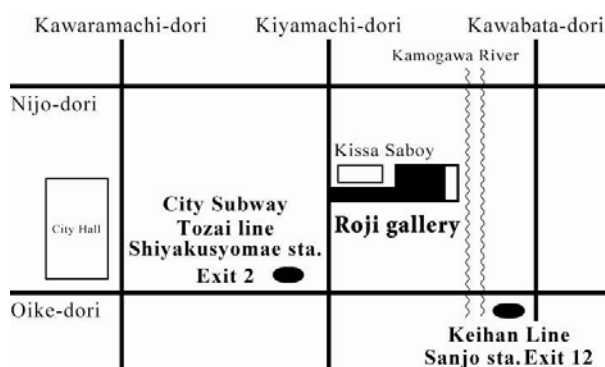
Fax: 075-221-5154

4. 連絡先

この展覧会と関連イベントの詳細は、(株)岡重

www.okaju.com まで。

ワークショップの申込みは、コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ東京校まで、イーメール (office@tc-japan.edu) または電話 (03-3221-9771) にて。



巡回展覧会

「少女マンガパワー！ 一つよく・やさしく・うつくしくー」

趣旨及び概要：

近年、世界的に注目を集める日本の少女マンガについて、100余点におよぶ原画および原画[ダッシュ] (=精巧な複製原画) など豊富な資料でその全体像をふりかえる展覧会。1950年代から現代まで、少女マンガというジャンルの形成と発展に多大な影響を与えた23人のマンガ家を取りあげる。北米9ヶ所を巡回し少女マンガの魅力を伝えた展覧会「Shojo Manga! Girl Power! http://www.csuchico.edu/~mtoku/vc/Exhibitions/girlsmangaka/girlsmangaka_index.html」をベースに、原画や作家の愛用品など資料を大幅に追加してリニューアル。北米での反響を紹介するコーナーも加え、日本の少女マンガの文化的意義について比較文化論的見地からも掘り下げる。展示・図録ともに日・英対訳。

開催期間：

展示会：2008年7月19日（土）～8月31日（日）10時～20時（最終入場19時30分）

関連講座「少女マンガ in USA」：2008年8月10日（日）13時～16時

同展のベースとなった北米巡回展覧会「Shojo Manga! Girl Power!」を企画・制作した徳雅美氏（カリフォルニア大学チコ校）の講演。さらに、アメリカン・コミックの専門家・小野耕世

氏（評論家・日本マンガ学会理事）をゲストに迎え、北米の少女たちのマンガ受容様態や、日本の少女マンガがアメリカン・コミックに与えた影響など、両氏の対談形式で説き明かす。

関連展示会「日・米 子ども平和マンガ展」：2008年7月26日（土）～8月10日（日）

USSEA(United States for Education through Art)が北米の子どもたちに呼びかけて集めた、「平和」をテーマとした絵画作品の展覧会。展示に併設してワークショップも行い、同じテーマで日本の子どもたちの作品も集めて、展示に追加する。「平和」という観念的なテーマを絵に表すという行為を通じて、日・米の子どもたちは「平和」についてどのように考えを深めていったのか。考えを深める方向や、絵に表す際の技法に日・米の文化的差異はあるか。日・米の比較展示による様々な問題を提起する。展示は日・英対訳。

会場・アクセス：

京都国際マンガミュージアム <http://www.kyotomm.com/>

交通案内：<http://www.kyotomm.com/access.html>

企画担当者・連絡先等：

表智之（京都国際マンガミュージアム）075-254-7414, miche-r.omote@nifty.com

「書く」と「描く」の間^{あいだ}—京近美コレクションと子どもたちの出会い—展 関連シンポジウム「子どもの鑑賞と美術館」

1. 趣旨および概要：

「書く」と「描く」の間(あいだ)—京近美コレクションと子どもたちの出会い—展

思い立ったときに見たい作品が見られる。美術館や博物館の常設展示の魅力である。学校の図画工作・美術の授業と関連付けて活用できると、生涯付き合えるような作品が見つかるかもしれない。美術館・博物館の常設展示は、その館の持てる力を示す重要な展示であり、従来、美術・博物館では専門の学芸員の手により企画運営されてきた。



元永定正, ZZZZZ, 1971, 京都国立近代美術館蔵(本展展示)

この度、京都国立近代美術館と京都教育大学の研究室が共同で子どものためのコレクション展示を企画することになった。子どもがどのように出会うのか、企画者は大いに悩んだが、その成果はいかがであろうか。また、土曜日には、子どもの鑑賞活動も計画している。

関連シンポジウム「子どもの鑑賞と美術館」

上記コレクション展示と関連して、さらに、子どもの美術鑑賞と美術館のかかわりについて、シンポジウムを企画している。特に、美術館の場やコレクションと子どもの鑑賞活動の意味や、教

室の学習活動とのかかわりをどのように考えるかなどについて、ヒントを見い出したい。

基調講演：マリー・フルコヴァ（チェコ共和国，カレル大学）

パネリスト：不動美里（金沢 21 世紀美術館），豊田直香（京都国立近代美術館），竹内晋平（京都教育大学附属京都小学校） コーディネーター：石川 誠（京都教育大学）（*石川は，InSEA 大会において本プロジェクトと関連する発表を行います）

2. 開催期間：

「書く」ことと「描く」ことの間（あいだ）—京近美コレクションと子どもたちの出会い—展；
2008 年 7 月 23 日(水)～9 月 7 日(日)，開館時間 9：30～17：00（入館：16：30 まで），夜間開
館（当企画関連期間）8 月 1 日～29 日までの金曜日，8 月 16 日（大文字・五山送り火）ギャラ
リートーク；7 月 26 日（土）14：00 ほか

関連シンポジウム「子どもの鑑賞と美術館」；2008 年 8 月 10 日（日）14：00～16：30，同館 1
階講堂。定員 100 名。

* 同時開催；（月曜休館日）

<企画展> 「没後 10 年 下村良之介展」（7 月 29 日(火)～8 月 31 日(日)）

<企画展> 「没後 30 年 W. ユージン・スミスの写真」展（8 月 5 日（火）～9 月 7 日（日））

<コレクションギャラリー> 「パンリアルと戦後美術」（7 月 23 日（水）～9 月 7 日（日））

*** InSEA Osaka 大会の参加者は，8 月 2 日（土）～13 日（水）（月曜休館日を除く）の期間中，
大会参加者証（名札）を出札窓口に提示すると，上記企画展示もすべて無料で観覧できます。**

3. 会場アクセス：

京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

Tel: 075-761-4111, Fax: 075-771-5792

<http://www.momak.go.jp>

JR・近鉄京都駅前 バス A1 乗り場—市バス「5」

岩倉行き「京都会館美術館前」下車

地下鉄東西線「東山」下車徒歩 5 分，ほか



4. 企画担当者・連絡先：

京都国立近代美術館 学芸課 山野英嗣，豊田直香（Tel: 075-761-4111(代)）

京都教育大学 美術教育研究室 石川 誠（E-mail: mishik@kyokyo-u.ac.jp）